

## スタッフ紹介

vol.6年報/2011.09.01発行



今回のスタッフは、子育てに追われながらも外来病棟、助産師外来などで活躍している中堅助産師3人と、初々しい新人助産師4人を紹介します。

まずは、小林さんから  
お願いします！

クリニックに勤務して、たくさんの方々の幸せな場面に出会うことができました。エコーで赤ちゃんがだんだん大きくなるのをみながら、出産を心待ちにしているお父さん、初めて赤ちゃんを抱いたお母さんをやさしく見守るご家族「おっぱいだけで足りるようになった」と自信に満ちた顔で報告してくださるお母さん……。本当にいい顔をされているなあと感じます。私生活では、三人の娘に翻弄され、山のような食器・洗濯物と戦いながら、毎日ばたばた過ごしているので本当に癒されます。妊娠・出産・育児はうれしいことばかりではないかもしれませんが、この時期を幸せな気持ちとともに思い出していただけるようお手伝いできたらと思っています。 助産師 小林末季

ハイ！



当院の助産師として勤めさせてもらっている福嶋です。

主に助産師外来で初期指導や母乳マッサージ、4Dなどを担当させてもらっています。私自身、4才と2才になる息子がいて、妊娠、出産、子育てを経験しています。その経験を生かし少しでも患者の皆様のケアが出来ればいいと思っています。妊娠中や産後のちょっとした不安やささいなこと、心配なことがあれば、いつでも気軽に声をかけてくださいね。 助産師 福嶋佐知子

クリニックでお世話になり1年が経過いたしました。

まだまだ不慣れではございますがたくさんの先輩方へのケアをさせていただける日々がとても充実しておりながら、日々育児と助産師としての勤務との両立で時母様を初めたくさんの患者様と関わらせて頂くことで産後のお母様方への同室指導・沐浴指導・退院指導などの指導および母親教室や助産師外来、今年に入ってから手術にも立ち合わせていただけるようになり、小学生の息子とともに勉強することが日課になっております。これからもクリニックにいらっしゃる方々に安心・安全な医療を提供することができるよう自己研鑽していきたいと思っております。 助産師 小財祥子



フォローしていただきつつ、ご入院中の患者様です。私自身も小学3年生と年少の息子を育てにはくじけそうになりながらも、赤ちゃんやお元気を分けていただいております。クリニック

助産師 小財祥子

## スタッフ紹介

vol.6年報/2011.09.01発行

私が助産師になった  
きっかけは・・・



私が助産師になったきっかけは、出産という命の誕生の瞬間が、母親だけでなく家族にとって良い経験になるように支援したいと思ったからです。出産は、一人ひとり違って、家族や妊婦さんが望む出産も人それぞれです。私は、家族や妊婦さんがどのようなお産をしたいのかを親身になって聴き、その希望に沿えるように援助していきたいと思っています。また、妊娠期間中やつらい陣痛の中においても不安や怖さを共感して少しでも安心して出産に臨めるように、寄り添って支援していきたいと思います。そのために、信頼できる助産師になれるよう、経験を積み知識や技術を高めて、1つ1つ頑張っていきたいです。

助産師 森田有香

助産師免許取得後は宮崎の大学病院のNICUで働いていました。新生児看護はとても奥が深くやりがいや、自分の不甲斐なさを感じながら4年間で過ぎました。あらゆる障害を産師として妊娠期、分娩期、産褥期の看護をしっかりと勉強しました。今は、成人看護や助産ができるようになること指導をしてもらい、支えられながら働いています。何もうくださる皆様に心から感謝しています。これからはそのような先輩の良い所をたくさん吸収し、正常に経過できることは問題なく経過できるようにお手伝いできるようになりたいと思っています。また医療的介入が最小限であっても家族の問題やニーズは様々であると思います。それぞれの家族の強みを見つけて出産を機に家族の絆が深まるような看護ができることが目標です。全く他人である私が助産師であるというだけで一つ一つの家族の始まりと関わらせて頂いています。その中で私の助産師として、また人としての感性が育てられています。一つ一つの経験を大切に専門職として成長していきたいと思っています。

箕面レディースクリニックに勤めて  
1ヵ月が経ちました。



乗り越えながら進む家族と関わる中で助強したいと思い、こちらに就職させて頂きに精一杯で、様々な職種のスタッフの方にできない私に根気強くて確かな指導をして

助産師 田中良美

私が助産師になって一年が過ぎました。



まだまだ、私は技術・知識が未熟ですが毎日、看護師、助産師の諸先輩方に助言をいただきながら自信を持って出来るケアを増やしていけることや、日々のどのように声かけしているのか、ケアを提供しているのかを一番近くで学ばせていただき、自分もこのように対応しようと思うことが多々あり、とても勉強になっています。そして、妊産婦さんの笑顔や赤ちゃんを見るとやりがいを感じてとても充実した毎日を送ることができています。また、同じ時期に入職した同期の人達とも日々の学びの情報交換を行い、人の学びを自分の学びにすることができお互い切磋琢磨しながら毎日を過ごせていると感じています。

妊産婦さん、赤ちゃんに対して優しい技術を提供できるように、また地域に住む周産期にある人たちに貢献できる自立した助産師になれるように日々向上心を持って積極的に学ぶ姿勢を忘れずに過ごしたいと思っています。

助産師 中村優希

平成23年2月1日より勤務させていただいています。

まだまだ分からないことがたくさんありますが、先輩方からいつも教えてもらい、また足りないところをフォローして貰いながら何とか勤めています。現在は分娩業務、フリー業務、リーダー業務の中で常に待たなしの業務へ大変さ、怖さ、また円滑に確実にやっていくことの難しさを痛感しています。今はいつも先輩方にいろいろな面でフォローをして貰いながら何とかこなしている状態ですが、当病院の一員として、1日でも早く1人前に仕事ができるようになりたいと思っています。その為には、毎日目標を持って1つ1つ成長していくことを心がけ、当院に来られる患者さんにこの病院に来て良かったと満足してもらえるケアに少しでも携わる事ができるように努力していきたいと思っています。これからもご迷惑をかけてしまう事も多々あると思いますが、よろしくお願いします。

助産師 新井とも美

